

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2007年10月10日 No.02

国連軍縮問題 上級代表に 66万署名を提出

日本原水協国連代表団

日本原水協の国連要請代表団は7日、核兵器全面禁止・廃絶の国際協定締結を求め、ニューヨークに向け出発しました。代表団は8日午後、国連本部でセルジオ・ドゥアルテ国連軍縮問題上級代表と懇談し、「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名66万筆の目録と、108首長・71議長の署名現物を提出しました。

10・8首都圏シンポ1200人で大成功

日本原水協が核兵器廃絶10月全国行動で位置づけた「ストップ! 原子力空母 首都圏シンポジウム 東京湾を平和の海に」が8日、神奈川県内で行われ、県内外から1200人が参加し大きな成功を収めました。北海道、茨城、栃木、群馬、東京、埼玉、千葉、山梨、新潟、長野、愛知、富山、福井、兵庫、福岡県原水協からも参加しました。

各地で6・9行動「すみやか」署名 緊急100万署名 訴え

日本原水協と東京原水協などは6日、連休でにぎわう上野公園で「原爆と人間」展パネルを並べ、「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名と原爆症認定制度の抜本的改正を求める緊急100万人署名、被爆者年末お見舞い募金をよびかける「6・9」行動を行いました。「21万羽おりづるプロジェクト」も行い、道行く人に折り鶴を呼びかけました。これには若いカップルや外国人、子どもなど幅広い人が協力してくれました。この日の行動には20人が参加し、「すみやか」署名が108筆、「原爆症」署名が41筆、3248円の被爆者募金が集まりました。

山形県田川原水協（鶴岡市）は6日、原爆症認定裁判の早期解決をもとめ定例の6・9行動を生協千石センター前で行ないました。世界大会に参加した2人を含め4人の行動で「すみやか署名」合わせ56筆署名と募金が寄せられました。

兵庫県原水協は連休中の6日正午、神戸市中央区の元町商店街で、核兵器廃絶などを訴える「6・9」行動を行いました。ちょうど商店街が音楽祭をしており、買い物客で混雑が激しい中でしたが、「すみやか」署名と、「緊急100万人署名」を訴えました。

観光に訪れたという長崎県佐世保市の親子連れは、核兵器を積んだ軍艦の寄港を拒否する非核「神戸方式」の説明を聞いて、「すごいことですね」と驚きながらそろって署名しました。神戸市東灘区の若い女性は、「原爆症の裁判のことは新聞で見て知っています。国の責任が大きいですよ」と語りながら署名と募金に応じました。この日の行動で、「核兵器廃絶」署名が68人分、原爆症署名が58人分集められました。



外国人も鶴を折った
(6日、上野)



大会参加者と行動(6日、
生協千石センター前)

10・8 ストップ! 原子力空母首都圏シンポジウム行動提起
今日学んだ原子力空母が持つ危険性と母港化を許さないという決意を、周りの人に伝えてください。首都圏、近県でも、全国でも学習や討論を広げましょう。講師も大いに要請してください。
「ストップ! 原子力空母」の声を、首都圏3千万の市民に知らせる創意的な宣伝や草の根の取り組みを広げましょう。
国連軍縮週間にむけた10月17、18日の政府交渉や11月の日本平和大会に向けての対政府行動など、外務省、防衛省、環境省などへの働きかけを強めましょう。日本政府に日本非核宣言を要求しましょう。
浚渫工事の停止を求める裁判や署名など、横須賀市民のたたかいに加わり、支援を広げましょう。
吹き始めた市民の風は止められません。憲法改悪、テロ新法、米軍再編強化反対の全国のたたかいと連帯し、核も基地も許さない、9条の輝く日本へと前進しましょう。12月2日の座間集会を成功させましょう。